

## 小中一貫教育の充実に向けて

駅家南中学校区では、中学校区の目指す子ども像である、「駅家に愛着と誇りを持ち、主体的に活動できる児童生徒」の育成をめざし、取組を進めています。

2学期は、児童生徒・教職員の交流や小中一貫教育を深めていく取組を実施しました。『駅家南中学校区一斉研修』では、各校の総合的な学習の時間の取組の交流や今後の改善の方向性を探りました。『駅家南中学校 道徳公開研究会』では、中学校の道徳の授業を小学校の教員が参観することで、指導力を高めるとともに、中学校の取組の様子を知ることができました。『部活動体験』では、小学生・中学生の交流とともに、駅家小学校・宜山小学校の児童の交流も行うことができ、中学校の部活動の様子を肌で感じることができました。

今後も、小学校・中学校ともに一丸となって、小中一貫教育の充実に向けて取り組んでいきます。

### 部活動体験（11月8日）

11月8日（火）に、6年生が部活動体験を行いました。本来は、夏季休業中の8月29日に実施予定でしたが、台風接近のため延期となっていました。小学校の児童は、中学校へ行って部活動の体験ができると、1学期からとても楽しみにしていました。

当日は、2つのグループに分かれ、「部活動体験」、「中学校における部活動の説明」を交互に行いました。始めは、緊張した表情だった小学生も、中学生が優しく教えてくれたり、明るく話しかけてくれたりしたおかげで、笑顔で活動することができました。また、中学校の担当者からは、中学校に入学するまでに、「『人』と『物』を大切に生活してほしい」という話がありました。『人』を大切にする「あいさつ」、『物』を大切にする「整理整頓」をきちんとできるようになろうという話を聞き、小学生は気持ちを引き締めていました。

実際に部活動を体験したり、中学校の教員や生徒と関わったりする中で、中学校の雰囲気や、部活動の様子などぼんやりとしていた中学校のイメージが明確になってきました。小学校の児童には、中学校に進学した自分をイメージするとともに、残りの小学校生活の自分の過ごし方を改めて考えるよいきっかけとなりました。

#### 児童のアンケートより

- ・部活動をするだけでなく、学校生活もちゃんとしようと思った。
- ・最初は緊張していたけれど、駅家小の人たちと仲良くできたのでよかった。
- ・先輩がみんな優しく、早く本格的にやってみたいと思った。
- ・体験をしてみて、もっとその部活に興味があった。
- ・私がミシンで作っているとき、先輩が「上手だね。」と言葉をかけてくれたのですごくうれしかった。
- ・優しく教えてくれたり、手本を見せてくれたりしたので、ソフトボール部に入りたくなった。
- ・先生と中学生の仲がよかったのがよく分かったし、準備運動もとても楽しそうにしていた。中1になるのが楽しみ。
- ・「中学校は大変だ」というイメージがあったけれど、体験をして楽しかったので中学校はすごく楽しそうだと思うことができた。中学校に行きたいと思えるようになった。



開会行事。各部活動の部長との対面です。これから始まる部活動体験に、ドキドキ・ワクワクの小学生です。



中学生からトスの仕方を教えてもらいました。始めは上手にできませんでしたが、優しく教えてもらい、少しずつできるようになっていきました。



楽器の吹き方を中学生から教えてもらいました。サクソやホルンなどの初めて見る楽器がたくさんありました。また、実際に演奏することもできました。



最初は、緊張気味だった小学生。中学生が明るく話しかけてくれたおかげで、少しずつ笑顔が戻ってきました。



「部活動の目標とは、何だろう？」  
感謝する心、礼儀・マナー、精神力、協調性、  
自主性・・・



サッカー部の中学生。大きな声であいさつをしてくれました。とても堂々としていました。